

日本における 製造業と半導体業界の 人材動向

2023年



KORN FERRY

BE MORE THAN

業界の見通し

製造業の主要分野

- 世界市場において、全体的な需要と生産能力は近年の最高水準を記録。一方で、短期的な見通しは明るくない。製造業は現在、インフレと経済の不確実性に関する懸念を抱えている。さらに、企業は人材の問題に奮闘し続けている
- 調達上のボトルネック、世界的な物流の受注残、コスト圧力、サイバー攻撃などのサプライチェーン上の問題は、2023年も重要な課題
- デジタル化や脱炭素化は産業構造の大きな変化をもたらす可能性がある
- 日本の製造業は、新型コロナウイルス感染症の流行からの反動需要として、設備投資が回復基調となってきた。特に産業機械製造業において、これが好機となるかは予断を許さない状況であり、2023年も事業環境の不確実性は続く

半導体業界の主要分野

- 2023年度、世界の半導体市場における最も重要な分野は自動車業界
自動車用半導体の収益は2030年代半ばまでに年間2,000億ドルに達し、2040年には2,500億ドルを超える
- 長らく首位だった無線通信は、2023年の見通しでは2位に後退。モノのインターネット（IoT）、クラウドコンピューティング、人工知能（AI）が、3位、4位、5位。
- 半導体技術の国産化が地政学的な最大の懸念材料。日本では二つの国策半導体プロジェクトが始動：台湾積体電路製造（TSMC）工場の日本誘致と国策半導体会社ラピダスの発足
- 2023年の日本の半導体市場は前年比+1.9%とプラス成長を継続し、市場規模は約6兆,494億円になる。2024年は同+7.8%と成長が再加速し、市場規模は約6兆9,537億円になる

Sources: Deloitte (2023), KPMG (2023), DIAMOND online (2023), WSTS (2023)

売上高上位企業

製造業(機械) (単位：10億円)

- 三菱重工業 (3,860.2)
- ダイキン工業 (3,109.1)
- コマツ (2,802.3)
- クボタ (2,196.7)
- ジェイテクト (1,428.4)

半導体業界 (単位：10億円)

- キオクシアHD (1526.5)
- ルネサスエレクトロニクス (994.4)
- ソニーグループ* (992.2)
- 東芝* (852.9)
- ローム (452.1)

* 半導体関連事業の収益

製造業と半導体業界の最新情報

製造業

- 雇用水準は2008年より高いものの、依然として熟練した労働者が大幅に不足
- 日本の製造業の中でも大きなシェアを占める自動車業界は、ここ数年で「CASE」「MaaS」といった概念を取り入れ、大きな変化を遂げており、ものづくりのベースとなる機械エンジニアだけでなく、電気やソフトウェアのエンジニア確保を狙った採用熱も高まっている
- 自動車業界以外でも、電気やソフトウェアエンジニアの需要が増加
- 機械エンジニアのポジションがメーカーの中で最も多く、採用需要も手堅い傾向はこれまで同様変わらない

半導体業界

- 人材リスクは、今後3年間に半導体業界が直面する最大の課題
- パワー半導体分野を中心に採用が続く(省エネ需要も要因)
- 半導体人材は争奪戦。高卒や高専卒を採用する大手企業も。
- 国内で工場の新設や増設が相次ぐ中、エンジニアやオペレーターなど、技術者に対するニーズが高まっている
- 国内の主要8社だけで、今後10年間で必要になる“半導体人材”は、4万人に上るが、熊本に進出するTSMCを含めると、必要な人数はさらに膨れ上がる
- 熊本大学は2024年に、半導体やデータサイエンスを学ぶ、新たな学部にあたる組織を設置する予定

最も需要の高い職種

製造業と半導体業界

- 機械エンジニア
- 自動車エンジニア
- ソフトウェアエンジニア
- 研究開発エンジニア

需要のあるスキル・企業

採用している

主な場所

- 東京
- 横浜
- 北九州
- 名古屋
- 大阪

主な企業

- ソニー
- 日産自動車
- IBM
- 日立
- 富士通

トップスキル

- データ分析
- EDA
- CAD
- FPGA
- プロジェクト管理
- 問題解決

トップメディア

チャンネル

- doda
- 日経
- BizReach
- Forkwell

Sources: Zippia (2023), Climb The Ladder (2022), Alliance Visa (N.D), Japan Academy (2021), Joinhandshake (2023)

© 2023 Korn Ferry

需要の高い職種の 給与相場

需要の高い職種の給与（月給）

機械エンジニア

平均給与額：509,753 円

給与レンジ 343,294 円 - 676,212 円

自動車エンジニア

平均給与額：748,699 円

給与レンジ 518,062 円 - 979,336 円

ソフトウェアエンジニア

平均給与額：634,167 円

給与レンジ 500,000 円 - 916,667 円

研究開発エンジニア

平均給与額：622,999 円

給与レンジ 439,588 円 - 813,013 円

製造業と半導体業界の報酬と 福利厚生の動向

市場パッケージの提供と期待

業界・企業側の動き

- 業界全体の課題である人材不足解消に向けて、採用強化とともに人材の定着化に取り組む企業が増加
- 一部ではベースアップの動きがみられるとともに、リモートワークなどの制度を取り入れる企業も少なくない（ベースアップ例：三菱重工業、クボタ、東芝）（リモートワーク例：三菱重工業、ダイキン工業、ソニーグループ）
- 出社が求められる職種でも、男性育休、賃上げ、有給・長期休暇取得の奨励、残業削減などの堅実な取り組みが行われている

求職者側の動き・期待

- 勤務地をはじめとした働く場所や時間の柔軟性を求める
- 特に最近では勤務地についての要望が増えている。転勤がないということに加え、勤務地固定の求人に応募が集まる傾向。地方では、県の中でも特定エリア固定の求人などにすると、UIターンも含めて応募が集まるというケースが見られる
- ニーズとしてリモートワークを求める傾向は依然あるものの、物価高を受け給与アップを目指しての転職も増加傾向

Sources: doda (2023), RECRUIT DIRECT SCOUT (2023)

製造業における採用の課題と解決策

課題

- **給与への期待からみるエンジニアへの魅力づけ**
- より専門的な知識が求められるにもかかわらず、エンジニアの給与は営業職よりも低い
- **中途採用比率は非製造業に比べて低い**
- 日本全体が中途採用にシフトしているにもかかわらず、非製造業の中途採用率は39.9%、製造業は31.7%と、製造業は依然として遅れている

解決策

- **市場給与の調整**
- エンジニアの給与を見直す必要性 - 仕事内容に応じて公正な報酬が支払われているかどうか
- **中途採用戦略の見直し**
- 日本人の終身雇用に対する考え方を変えることは難しいが、企業は、有益で徹底したオンボーディング・セッションを通じて、中途採用者をより歓迎する環境を作る役割を果たすことができる

半導体業界における採用の課題と解決策

課題

- **業界拡大に伴う厳しい人材獲得競争**
- 半導体業界における日本の市場シェア維持のための厳しい競争に対応するため、日本の大手半導体企業8社は35,000人の技術者を雇用する必要があるとの調査結果が発表された
- **人材獲得競争は半導体業界にとどまらない**
- ほとんどの学部生は、半導体のリーダー企業よりも、ソフトウェアやサービスの企業、あるいは自動車のリーダー企業への就職を希望している

解決策

- **政府の人材育成プログラムを活用する**
- 業界のパートナー、学界、政府を巻き込んだプログラムは、活用するのに良い選択肢。例：九州大学と9つの自治体とのコラボレーション
- **転用可能なスキルセットを持つ職務の構築**
- 職務範囲を再構築し、より移管可能なスキルをカバーすることで、リスキリングの機動性を高める
- **報酬／福利厚生パッケージの見直し**
- 給与体系を強化し、職場環境の柔軟性およびキャリアパスの流動性を高めることで、人材を惹きつけ、維持することができる

THANK YOU

お問い合わせ先：

西沢サムエル

Vice President – Korn Ferry Japan

Samuel.Nishizawa@KornFerry.com